集中ノ状況ニ二百五十円十四ノ應募アリタルヲ以テ大正十一年七月二日府下大崎町居木橋一四八二戸ヲ借受ケ東京鉄工組合大崎會館ト命名シ同時ニ組合員數名ヲ移住セシメタルカ七月八日事務所ヲ會館ニ移轉シタリ而シテ同日午後七時ヨリ會館ニ於テ幹部会約三十名並組合幹部會ヲ開キ来ル三十日開催サルヘキ関東労働同盟會大會ニ提出スヘキ議案其他ニツキ協議ヲナシ左記事項ヲ決定シ午後十時散會ス

(一)関東労働同盟大會提出議案

イ、労農ロシアノ承認

ロ、国際労働會議ノ否認

ハ、メーデー當日ノ全労働者休業宣傳

ニ、犠牲者ニ感謝ノ意ヲ表スル事

(二)其他

イ、従来ノ機関雑誌ハ各支部毎ニ発刊シ統一ヲ欠キ居リタルヲ以テ之ヲ統一シテ一部トナシ各支部ノ事項ハ附録トシテ登載スル事

ロ、来ル十二日大崎會館ニ於テ城南支部発会式ヲ挙行スル事

一、大正十一年七月三十日府下品川町公會堂ニ於テ開催セル関東労働同盟會大會ノ際本組合モ参加シ数項ノ議案ヲ提出セリ

一、労働者ロシア飢饉救済委員會ニ加盟シ中島伍八委員トナリ大正十一年八月六日及九月三日挙行セルロシアデーニ参加シ市内要所ニ於テ絵葉書ノ販売員ヲナシタリ

一、大正十一年九月二日組合本部ニ於テ午後七時ヨリ組合員有志會ヲ開キタルガ来会者約三十名ニシテ全国労働大會ニ出席スヘキ代議員ノ選定ヲナス筈ナリシモ支部員ノ欠席多数ノタメ決定スルニ至ラズ本月十五日迄ニ各支部ニ於テ選定本部ニ通報スルコトトシ午後十時散會ス

一、大正十一年九月十日神田錦町貸席松本亭ニ於テ開催セラレタル日本労働総同盟聯合準備大會ニ中島伍八組合ヲ代表シテ出席ス

一、大正十一年九月十日午後七時ヨリ本部ニ於テ會員約二十五名集合全国総聯合會ニ出席スヘキ代議員ノ選定ヲナシタリ

行動

一、組合ニ於テハ本年(十一年)七月中労働會館建設ヲ計画シ組合ヨリ寄附ノ募集ヲナスコトニ決シ第一期寄附金募集ハ去ル七月ヲ以テ締切リトナリ寄附金額三百円ニ達シタル模様ニシテ今回第二期トシテ組合外篤志家ノ寄附ヲ仰グベク大正十一年九月中旬左記印刷物數百枚ヲ郡下其他ノ智識階級及有産階級ニ送附シ寄附勧誘中ナルガ帝大教授吉野作造ノ如キハ既ニ金百円ヲ寄附シタルガ本寄附募集ニ関シテハ直接勧誘ヲ避ケ居ルモノヽ如シ

大崎労働會館基金募集

東京の南部たる大井、品川方面より大崎、五反田渋谷方面一帯は最も繁盛な工業地帯の一つであります。従つて労働者の最も多く在住する地方の一つであります。我々は数年来此の地方に於て着々労働運動の地歩を築きつゝ来ました。そして今回我々の計画を更に一歩進めて此の地方の中心たる大崎に労働會館を設立しました。我々の手に會館を持つて居ると云ふ事は労働者の智識的及人格的教養の上から又民衆娯楽の上からも極めて便利である事は多言を要しません。我々が此の文化機関を活用する事に依て将来吾々の解放運動にも益する処なるものがあらうと思ひます。然し我々は無産者のことですから到底會館を設けても其維持に多少困難を感じて居ります。我々は貴下の此の心情に訴へ多少に拘らず御寄附下されんことを御願致します

御寄附の節は東京府下大崎町居木橋一四八大崎労働會館内田口亀造宛に願ひます

日本労働総同盟支部
東京鉄工組合　田口亀造
赤松克麿

一、大正十一年十月十日午後七時ヨリ組合本部ニ於テ幹部會開催出席者約二十名左記事項ヲ協議シ同十時散會セリ

東京鉄工組合ノ事務所ヲ大崎労働會館ト改称シ同時ニ組合規約ヲ変更シ尚組合長田口亀蔵病気ノ故ヲ以テ辞職申出テ後任ヲ詮議ノ